

# 言語活動の充実に関する実践事例

学校名(尾道市立御調中央小学校)

- ① 教科等 生活科                      ② 学年 第2学年
- ③ 単元名 あそび 大すき あつまれ!
- ④ 本時の目標 「ミニおもちゃ大会」を開き、より楽しめる遊び方のルールを見付け合うことを通して、遊びを創り出す面白さに気付く。
- ⑤ 学習の流れ (7時間目/全9時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 学習課題を確認する。	みんながもっと楽しめるような遊び方のルールを見つけ合おう。	
2 他のグループのおもちゃで遊んだり、自分のおもちゃで友だちに遊んでもらったりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームの時間や同時に対戦する人数、得点のつけ方など、遊び方のルールを考えるとときに出了ポイントを確認する。</li> <li>・半分のグループに「ミニおもちゃ大会」を開かせ、半分のグループに遊びを体験させる。</li> <li>・1年生を招いて開催する「おもちゃ大会」本番を想定して、遊びのルール説明など、自分の役割にそって活動させる。</li> </ul>	
3 遊んでみて気が付いたことや改善のアドバイスを交流する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間、人数、得点などのポイントにそって、よかった点や改善した方がいいと思うことについて伝え合わせる。</li> <li>・改善のアドバイスでは、どこをどうすると良いかを具体的に言わせたり、おもちゃを実際に用いて説明させたりする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【期待される児童の発言(人数に着目した場合)】 みんなで一斉に遊んだので、おもちゃがぶつかってうまく動きませんでした。「1回〇人ずつ」と決めた方がいいと思います。</p> </div>	
4 友だちからのアドバイスを参考にして、遊び方のルールを付け加えたり、考え直したりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイスをもらったり、自分たちで気付いたりしたことについて、グループで話し合わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より楽しく遊ぶための遊び方のルールを考え、遊びを創り出す面白さに気付いている。</li> <li>[身近な環境や自分についての気付き] (行動・発言・カード)</li> </ul>
5 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の活動でどんなことに気付き、どんな修正をしたかをカードにまとめさせる。</li> </ul>	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 友だちのおもちゃで遊んだり、自分のおもちゃで友だちに遊んでもらったりする活動を通して、みんなが楽しめるためのルールや工夫について考えることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 「時間」「人数」「得点」などのポイントを意識できるよう、これらの項目に沿ってルールを画用紙にまとめさせておく。
- 交流の際に、どのポイントについての気付きやアドバイスなのかを明確にして伝えるようにさせる。